

哲学誌 63

東京都立大学哲学会 2021

カントの「純粹」をめぐる「誤解」について
——超越論哲学の特有性と理念——

久呉 高之 (1)

概念形成論史の中の「具体的普遍」

木本 周平 (29)

中国語の部屋を再訪する

——新たな人工知能の哲学のために——

山蔦 真之 (57)

2020年度哲学教室関係記事

授 業 題 目

(* は非常勤講師)

教養・外国語授業題目

哲 学 A	石川 求	西洋古典学 A	小池 登
哲 学 B	木田 直人	ギリシャ語 I	* 金澤 修
倫 理 学 A	木田 直人	ギリシャ語 II	小池 登
倫 理 学 B	栗原 裕次	ラ テ ン 語 I	* 古澤 香乃
論 理 学 A・B	松阪 陽一	ラ テ ン 語 II	* 大芝 芳弘
科 学 哲 学	岡本 賢吾	基礎ゼミナール	木田 直人
心 の 哲 学	栗原 裕次		

学部授業題目

(講義)

古代中世哲学 I・II	栗原 裕次	美 学	* 伊藤 直樹
近世哲学 I	木田 直人	西洋古典学概説 I	小池 登
近世哲学 II	石川 求	西洋古典学概説 II	小池 登
日本倫理想史	* 鈴木 朋子		

(演習)

哲学基礎演習 (英米) I・II	Peter Godfrey-Smith, <i>Complexity and the Function of Mind in Nature</i>	松阪 陽一
哲学基礎演習 (独仏) I・II	ドイツ語基本文献講読	石川 求

学部・大学院共通授業題目

(特殊講義)

論理学中級	松阪 陽一
論理学中級	* 細川雄一郎
中世の倫理学	* 上村 直樹
ミーメシス論と現象学的美学	* 伊藤 直樹
自由の問題	* 澁川 優太
ニーチェの哲学	* 近堂 秀
ハイデガーのアリストテレス解釈	* 上田圭委子
サルトルの哲学とその現代的意義	* 永野 潤
アーレントとフランス哲学	* 高橋 若木
西洋哲学史における悲劇と倫理 [夏季集中]	* 高橋 若木
現代思想と「対話の哲学」	* 佐藤 香織
フッサールと現象学 [夏季集中]	* 澁川 優太
論理の哲学	岡本 賢吾
英米の哲学	岡本 賢吾
科学哲学入門	* 東 克明
哲学討論	岡本 賢吾

(哲学・倫理学演習)

Plato, *Politicus*
 Aristoteles, *Ethica Nicomachea*
 Merleau-Ponty, *La Structure du comportement*
 Malebranche, *De la recherche de la vérité*
 Leibniz, *Nouveaux Essais*
 Hegel, *Wissenschaft der Logik*
 Schopenhauer, *Die beiden Grundprobleme der Ethik*
 Wittgenstein, *Philosophische Untersuchungen*
 Wittgenstein, *Whewell's Court Lectures: Cambridge*

栗原 裕次
 栗原 裕次
 木田 直人
 木田 直人
 木田 直人
 石川 求
 石川 求
 松阪 陽一
 * 渡辺 大地

(西洋古典学演習)

Thucydides, *Historiae* 〈ギリシャ語散文〉
 Vergilius, *Aeneis* 〈ラテン語韻文〉
 Aeschylus, *Supplices* 〈ギリシア語韻文〉
 Cicero, *De Natura Deorum* 〈ラテン語散文〉

* 上野 慎也
 * 大芝 芳弘
 小池 登
 小池 登

大学院授業題目

古代哲学研究 修士課程・博士課程在学者への論文作成指導
 近世哲学研究 修士課程・博士課程在学者への論文作成指導
 現代哲学研究 修士課程・博士課程在学者への論文作成指導
 西洋古典学研究法 修士課程・博士課程在学者への論文作成指導
 修士論文指導 修士課程在学者への論文作成指導
 博士論文指導 博士課程在学者への論文作成指導

栗原 裕次
 石川／木田
 岡本／松阪
 小池 登
 全 教員
 全 教員

論文題目 (2019年度)

卒業論文

クリプキの懐疑論への批判と「規則に従うこと」について
 スピノザ『エチカ』における「自由人」の行為の必然性について
 アリストテレス『魂について』における感覚論
 アリストテレスの感覚論：『感覚と感覚されるものについて』の役割
 原理・原因としての実体について—アリストテレス『形而上学』Z 17の理解を通して—
 真理探究の発端である想像力
 反レイシズム実践が社会にもたらす効果に関する一考察
 言語の性質と思考の性質の関係による問題点について
 様相論理と義務論理の基本的な性質

阿部 道久
 上野凜太郎
 江良 樹
 小松 涼夏
 須貝 長熙
 田中うらら
 子川松之助
 蓮池みゆき
 長谷川航太

博士論文

オウィディウス『変身物語』における叙事詩の技法：物語相互の内的連関と統一性の原理
 命題と証明の概念の哲学的基礎：多様な論理体系とその様相埋め込みを手がかりに

河島 志朗
 山崎紗紀子

学科消息

2020年4月に、本学客員研究員の細川雄一郎氏が群馬県立女子大学文学部に赴任しました。

2020年度学会記事

7月に予定されていた第44回研究発表大会および第63回都立大学哲学会総会は、新型コロナウイルス感染拡大のため2021年以降に延期となりました。

会員出版物の紹介

以下に記載させていただいたのは、本誌編集委員が把握することのできた限りのものです（会員である著者・訳者名50音順）。

江川隆男著

『すべてはつねに別のものである：〈身体—戦争機械〉論』河出書房新社、2019年

佐野好則・浜本裕美・河島思朗ほか著

『ホメロス『イリアス』への招待』ピナケス出版、2019年

佐野好則ほか著

A Special Model of Classical Reception: Summaries and Short Narratives, Cambridge Scholars Publishing, 2020年

出村和彦ほか訳

『アウグスティヌス著作集19/II：詩篇注解4』教文館、2020年

永野潤著

『イラストで読む キーワード哲学入門』白澤社、2019年

浜本裕美・河島思朗編著 上野由貴・小池登・大芝芳弘・佐野好則・栗原裕次・金子善彦・金澤修ほか著

『西洋古典学のアプローチ——大芝芳弘先生退職記念論集』晃洋書房、2021年

平井靖史ほか訳

『アンリ・ベルクソン 時間観念の歴史——コレージュ・ド・フランス講義1902-1903年度』書肆心水、2019年

会員の皆様の研究業績に関する情報を集めております。とくに、研究書を出版された方はご一報下さい。

本号掲載論文について

3篇の論文は、いずれも公募論文から厳正な審査を経て選ばれたものです。

『哲学誌』第64号掲載論文投稿規定

下記の通り『哲学誌』第64号の原稿を募集いたします。ふるってご応募下さい。

1. テーマ

限定しません（ただし、オリジナル論文に限ります）。

2. 長さ

[和文の場合] 24,000字（400字詰原稿用紙に換算して60枚）以内（注・文献表を含む）

[欧文の場合] 12,000語以内

3. 提出方法

電子メールに添付してお送りいただくか、郵送してください（直接ご持参いただいてもかまいません）。

- 電子メールで投稿される方は、論文のPDFファイルとWordファイルの二つを、本学会のアドレス（totetsu2020@yahoo.co.jp）までお送りください。
- 郵送なさる方は、下記までご送付ください。

192-0397 八王子市南大沢1-1
東京都立大学哲学事務室内
東京都立大学哲学会事務局

4. 提出期限

2021年10月1日（金）午後5時必着（厳守）

第9回東京都立大学哲学会研究助成公募

第9回東京都立大学哲学会研究助成の希望者を募集いたします。

募集期間は、2021年7月20日から8月20日までです。

この研究助成制度の趣旨や応募資格などにつきましては、本学会 HP（<https://www.comp.tmu.ac.jp/philosophy/tetsugakukai/josei/josei.html>）をご覧ください。

希望者は、本学会 HP より申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、学会事務局まで郵便ないし電子メール（totetsu2020@yahoo.co.jp）でお送り下さい（郵送の場合、当日消印有効とします）。

編集後記

世界中で猛威をふるう新型コロナウイルスの影響で、2020年度は残念なことに研究発表大会と哲学会総会を開くことができませんでした。2021年度の大会・総会についても様子をみながら、開催時期や方法について考えていかなければなりません。今後とも会員の皆さまのお知恵とご協力を賜りたく存じます。

そうした非常時においても、哲学の交流の場である本誌63号を刊行できたことを喜びたいと思います。例年申し上げておりますように、査読の先生方には、ご多忙にもかかわらず、本誌の質のよりいっそうの向上のため、多大なご尽力をいただきました。この場を借りまして、心より御礼申し上げます。言うまでもなく、査読

方式の維持のためには、会員の皆様のご協力が必要となります。ご多忙中恐縮ですが、論文の質の向上のために、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

電子メールでの公募論文の投稿を受け付けています（詳しくは、上記『『哲学誌』第64号掲載論文投稿規定』をご覧ください）。これまで同様、積極的にご投稿いただきますようお願い申し上げます。

東京都立大学哲学会規約

- 第1条 本会は東京都立大学哲学会と称し、東京都立大学人文学部哲学科および首都大学東京都市教養学部哲学教室の関係者、ならびに、本会が特に承認する者の任意加入を以て構成される
- 第2条 本会は広義の哲学思想の研究とその普及を計ることを目的とする
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う
- 1 毎年数回研究発表会を開く。うち1回は大会とする
 - 2 毎年1回会誌を発行する
 - 3 他の哲学会との交流を行う
 - 4 哲学に関する著述・翻訳を組織的に行いその出版を計る
- 第4条 本会は会員組織とし、会員は一般会員、名誉会員からなる
- 第5条 第3条の事業を行うための機関として総会および委員制度を設ける
- 1 年1会総会を開催する
 - 2 委員は 委員長1 運営委員 若干名 編集委員 若干名 会計監査2 監事 若干名とし、総会で選出される
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし再選を妨げない
- 第6条 本会の経費は会費および寄付金によってこれを賄う
- 1 会員は会費を納入するものとする。ただし名誉会員はそのかぎりではない
 - 2 会費は年額一律4,000円とする。ただし学生は2,000円とする
 - 3 寄付金は一口10,000円として受け付ける
- 第7条 会員は会誌の配付をうけ本会の行う諸種の行事に参加することができる
- 第8条 5年以上の会費未納者は退会とみなす
- 第9条 本会の事務所は首都大学東京都市教養学部哲学事務室内に置く
- 第10条 本会規約の改正変更はすべて総会の決議による

哲 学 誌 63

2021年3月25日発行 1,200円

編集・発行 東京都立大学哲学会

代 表 者 実 川 敏 夫

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学人文社会学部哲学事務室内

TEL 042-677-2068 / FAX 042-677-2073

e-mail totetsu2020@yahoo.co.jp

郵便振替口座：00150-6-90711

制作 (有)青史堂印刷

HISTORIA PHILOSOPHIAE No. 63

The Society of Philosophy of Tokyo Metropolitan University 2021

Ein „Mißverstand“ über „rein“ in Kant: Das Eigentümliche und die Idee der Transzendental-Philosophie.	KUGO Takayuki	1
“Concrete Universal” in the History of Concept Formation Theories	KIMOTO Shuhei	29
Revisiting the Chinese Room — Toward a New Philosophy on Artificial Intelligence	YAMATSUTA Saneyuki	57